

# 安全衛生管理基本計画

令和元年 8 月 1 日  
理 事 長 決 定

社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会（以下「法人」という）は法人の理念に基づき、職員の健康と安全を確保し、利用者へ質の高い支援を提供することを目的として安全衛生管理基本計画を策定する。法人の役職員は一丸となって法人施設内のあらゆる事故、災害、職業病の防止に積極的に活動し、危険に対する予知能力を磨くとともに潜在的な危険要素を除去し、職場内の安全環境の向上に努めるものとする。

## 1. 安全衛生基本方針

スローガン「支援手順を確認し丁寧な動作を心がけ、利用者にも職員にも優しい施設を実現する」

- (1) 利用者支援中の事故予防（腰痛予防）に努めます
- (2) 4 S 活動を実施し、職場内の整理整頓に努めます
- (3) 職員の健康障害防止に努めます
- (4) 職員の交通災害防止に努めます
- (5) 地震などの大規模災害にも対応できる職場づくりに努めます

## 2. 安全衛生の取組事項

### (1) 利用者支援中の事故予防（腰痛予防）

- (ア) K Y（危険予知）活動を通じて職場内の点検や支援方法を確認
- (イ) 始業時の腰痛予防体操の実施
- (ウ) 高齢支援系・障害者支援系施設における福祉機器の積極的導入
- (エ) 腰痛ベルトの推奨

### (2) 4 S 活動の実施

- (ア) 「整理」「整頓」「清潔」に加え「清掃」を心がけることで、作業効率を向上させる
- (イ) 職員室等の定期的な清掃の実施（週 1 回）

### (3) 健康障害の防止

- (ア) メンタル不調を早めに気づく各種取り組み
- (イ) ストレスチェックの実施
- (ウ) 人間ドック・婦人科健診の助成
- (エ) 二次検診の業務配慮等
- (オ) 産業医面談サービス

#### (4) 交通障害の防止

- (ア) 自動車運転者への安全運転教育
- (イ) 自転車運転者への安全運転教育
- (ウ) 自転車保険の加入義務

#### (5) 地震などの大規模災害でも対応できる職場づくり

- (ア) 消防設備及び電気設備
- (イ) 防災訓練の実施
- (ウ) BCP（事業継続計画）の策定
- (エ) 職員用の保存食、生活用品の備蓄

### 3. 安全衛生管理計画

月	計画内容	担当
4月	各施設における新任研修 衛生管理・防災・腰痛予防対策	各施設
5月	メンタルトレーニング研修	研修委員会
6月	雨による転倒予防の呼びかけ 職員の災害事故分析	総務部
7月	自動車安全運転講習 熱中症予防の呼びかけ	施設部
8月	ストレスチェック実施	総務部
9月	昭和郷合同防災訓練	昭和郷
10月	各施設における感染症予防呼びかけ	総務部・施設部
11月	メンタルトレーニング研修	研修委員会
12月	年末年始災害防止呼びかけ	総務部
1月	雪による転倒予防呼びかけ	総務部
2月	パワハラ・セクハラ等の防止呼びかけ	総務部
3月	新任研修 就業規則説明、労働条件等説明	総務部 研修委員会

※上記の他内部検査にて、施設内の危険箇所の把握や衛生管理者等の選任及び労災事故等の把握を行う

### 4. 安全担当者の配置

事務局を含む全ての施設において安全担当者を配置し、職員の労働衛生及び安全対策及び災害予防に努める



第13次東京労働局労働災害防止計画推進中



策定日 令和元年8月1日

掲示日 令和元年8月1日

# 安全衛生方針

本会は「『職員の安全』は『利用者の安全』の礎である」との理念に基づき、安全衛生の基本方針を以下のように定め、役職員一丸となって労働災害防止活動の推進に努めます。

## 安全衛生の基本方針

### 【スローガン】

支援手順を確認し丁寧な動作を心がけ、  
利用者にも職員にも優しい施設を実現する

### 【安全衛生の取組（概要）】

- (1) 利用者支援中の事故予防（腰痛予防）に努めます
- (2) 4S活動を実施し、職場内の整理整頓に努めます
- (3) 職員の健康障害防止に努めます
- (4) 職員の交通災害防止に努めます
- (5) 地震などの大規模災害にも対応できる職場づくりに努めます

法人名



社会福祉法人  
恩賜財団 東京都同胞援護会  
TOKYOTO・DOHO・ENGOKAI

代表者 理事長 飯山 幸雄